



「おひさまきらきら えがおいっぱいのなんざんようちえん」

南山幼稚園だより

2月号

平成28年1月29日

港区立南山幼稚園

日本の伝統や文化に親しむ

寒い日が続きますが、来週2月4日は「立春」です。立春は冬と春の分かれる節目である「節分」の翌日です。旧暦では一年の始まりは「立春」からでした。ということは、立春が元日で、節分が大晦日ということになります。そこで、節分には、悪鬼を追い出し、無病息災の福を招いてお正月を迎えようと豆まきをしたそうです。3日(水)には、園でも「まめまき集会」を行います。きっと、子供たちは「鬼は外、福は内」と元気に豆をまきながら、春を招いてくれることでしょう。

さて、幼稚園では、節分の豆まきのように、日本に古くから伝わる伝統的な行事や文化に触れる機会を設けています。子供の健やかな成長を願うひな祭りや端午の節句(こどもの日)、子供たちの願いを込めた七夕祭り、他にもお月見、餅つき、お正月遊びなどです。これらは、日本人に大切に受け継がれてきたものです。しかし、残念なことに近年では、子供たちが、家庭や地域社会で、これらの伝統的な行事や文化に触れる機会が減ってきています。

南山幼稚園には、外国のお子さんが通っています。言葉や習慣の違いはありますが、そのような違いは幼い子供たちの遊びの妨げにはなりません。楽しいな、面白いななどの共通の遊びの体験を通して互いを受け入れ、なかよく遊んでいます。子供たちは、一緒に遊びながら、自然に国際感覚の素地を身に付けていっているのです。

これから益々国際化が進んでいきます。子供たちが育っていく過程で、さらに子供たちに他の国の文化を理解し大切にしようとする心を育てていくことは大切なこととなります。その時、その基盤となるのは、日本の伝統や文化をよく理解していることです。そこで、幼いうちから、体験を通して日本の伝統や文化のすばらしさに触れ、自分の生まれ育った国に親しみを持ち、誇りに思えるように育てていきたいと思えます。

春が近づいてきたね

1月の誕生会では、司会を務めた5歳児の堂々とした姿に目を見張りました。一つ一つの言葉を丁寧に大きな声で言っていました。この日は、5歳児が司会を務める最後の誕生会でした。2月からは、司会を4歳児が引き継ぎます。そのことを5歳児はしっかりと意識して、心を込めて司会の言葉を言っていたのです。4歳児も、5歳児の様子をしっかりと見ていました。5歳児と4歳児の思いと成長を感じた嬉しい誕生会となりました。

来年度入園する子供たちの1日入園の日のことです。3歳児は、自分より小さな友達を迎え、とても嬉しそうにしていました。また、最近の3歳児の片付けや身支度の様子を見てみると、教師に頼らないで、「できるもん」「ねえねえ、見て」などと言って張り切っています。そのような遊びや生活の中での表情や仕草、行動そして言葉から、どの子もその子なりに成長していることを感じます。

どの学年の子供にも、新たなスタートである春が近づいていることを感じます。

園長 和田 京子





◎3歳児 りんご組

○いろいろな材料を使って自分なりに作り、遊ぶことを楽しむ。

空き箱や厚紙、広告紙、カップ、折り紙等、身近な素材に触れ、自分なりに折ったり、丸めたりして作ることを楽しんでいます。また、セロハンテープ、はさみやクレパス等の用具も扱えるようになってきました。このような楽しさをさらに味わえるようにします。

○学級での表現遊びに喜んで参加し、楽しむ。

学級のみんで過ごすことを心地よいと感じるような楽しい雰囲気の中で、自分なりに楽しみながら表現遊びに参加できるようにしていきます。教師の話聞いて、一緒に踊ったり、動いたりして遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

○自分の物や遊具の始末を進んで行う。

クレパスやはさみ等の自分の物や学級の物の片付け方が分かり、進んで行う姿を認めながら、できるようになったという自信につながるようにしていきます。

◎4歳児 ばら組

○友達に自分の思いを伝えたり、言葉や動きから相手の思いに気付いたりして遊ぶことを楽しむ。

気の合う友達に自分の思いを言葉で伝えたり、相手の動きや言葉から、やりたい思いやイメージが分かり、取り入れたりしながら遊びを進めていけるようにします。

○話に沿って動いたり、必要な物を作ったりして学級で行う劇遊びを楽しむ。

ストーリーの展開を繰り返しながら、言葉を言ったり、ストーリーに沿った表現をしたりして、みんなで劇遊びを楽しみます。話の中に出てくる物を作り、使いながら楽しめるようにしていきます。

○年長組から係や当番の仕事を教えてもらい、やってみることで年長組になることを楽しみにする。

誕生会の司会や当番など、年長児が行っていることを知り、教えてもらいながらやってみます。そして、年長組になることを楽しみできるように、気持ちを高めていきます。

◎5歳児 さくら組

○自分のめあてに向かって、最後まで諦めずに取り組む。

縄跳びや運動遊びに取り組み、できた喜びを自信につなげていきます。雛人形作りでは、最後まで丁寧に取り組み、作り上げた喜びを味わえるようにしていきます。

○共通の目的に向かって、友達とイメージや考えを出し合って劇を作り、やり遂げた満足感を味わう。

こども会に向けて、同じ役の友達とストーリーに合った動きや言葉を考えたり、必要な物を作ったりしていきます。互いの思いを受け止め合い、劇が完成していく過程を学級のみんなで楽しみながら活動を進めていけるようにします。

○自分たちの成長を感じたり、就学への期待を高めたりする。

年長組としての仕事をばら組へ引き継いでいく経験を通して、内容を伝えるための方法を自分たちで考え、丁寧に伝えていきます。5年生との交流では、5年生の教室で、小学校の一年間の行事を教えてもらったり一緒に給食を食べたりします。そして、就学への期待感がよりもてるようにします。